



## PRESS RELEASE

2012年12月26日

株式会社オプト

### オプト、スマートデバイスを“ハブ化”して オンラインとオフラインを繋ぐマーケティングツール 「SPONGE シリーズ」の提供を開始 ～O2O やセカンドスクリーン視聴の効果測定等を実現～

株式会社オプト（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：鉢嶺 登、証券コード2389、以下オプト）は、日本エヴィクサー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：瀧川 淳、以下日本エヴィクサー）との業務提携により、スマートデバイス（スマートフォン・タブレット）を“ハブ化”してオンラインとオフライン（※1）を繋ぐマーケティングツール「SPONGE（スポンジ） シリーズ」の提供を開始致します。

「SPONGE シリーズ」は指定した音・映像・画像等をスマートデバイスで認証し、設定したアクションを実行するスマートデバイスアプリケーション用のソリューション群です。

これによって、広告主は「O2O（Online to Offline）」や「セカンドスクリーン視聴」（※2）という新たな消費行動を“可視化（測定）”し、“そのタイミングに合わせたコンタクトポイント”を作ることが可能となります。

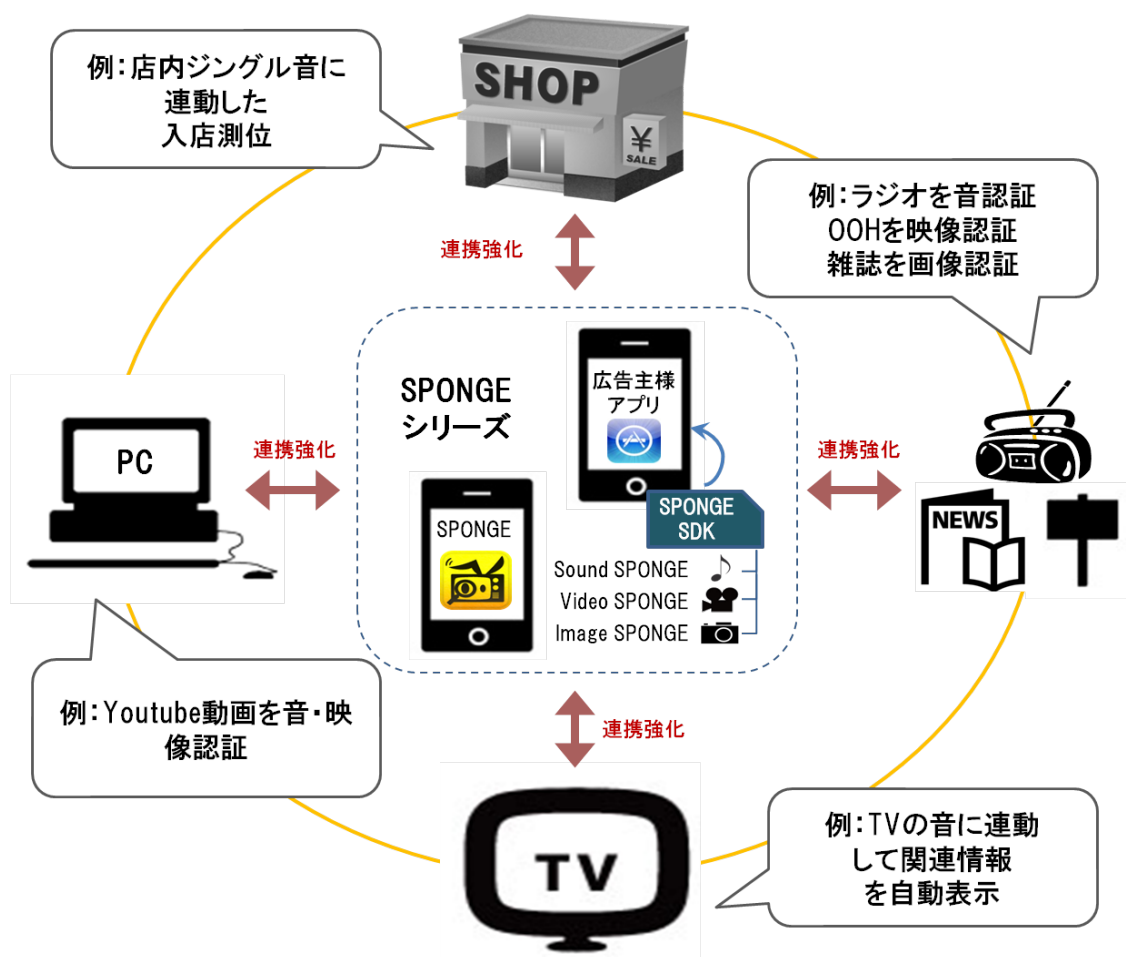
#### <サービス提供の背景>

昨今、スマートデバイスの普及により、ユーザーの消費行動が大きく変容しています。なかでも、O2O（Online で情報収集して実店舗で購買する消費金額は、今後2015年までに消費金額が43.8兆円まで拡大する予測※3）やセカンドスクリーン視聴（76%がテレビとスマートフォンを同時視聴、米国ではユーザーがCMとスマホ広告を同時に認識した場合購買意欲が72%増加 ※2）といった新たな消費行動が高い注目を集めています。

この状況に対し、ECサイトや実店舗を展開する事業者の間では、これまで実現できていなかったオンラインとオフラインをシームレスに繋ぐ新しいマーケティング手法の実現が課題として上がっております。

オプトでは、こうした課題を解決すべく、日本エヴィクサーが開発したソリューション（※4）を活用し、「SPONGE シリーズ」を開発し、スマートデバイスの“ハブ化”を支援するためにサービス提供開始に至ったものです。（参照：「SPONGE シリーズ」導入後）

▼ 「SPONGE シリーズ」導入後



## <サービス概要>

以下2種類のソリューションを提供し、スマートデバイスの”ハブ化”実現を支援致します。

### ① 「SPONGE SDK」

「SPONGE SDK」は、スマートデバイスアプリ組込型のソフトウェア開発キット（以下SDK）です。広告主のスマートデバイスアプリにSDKを組み込むことにより、オンラインとオフラインの連携を実現します。

具体的には、ユーザーの周囲にあるオフラインの情報（音・映像・画像）を認証可能になり、O2Oの効果測定や分析、新たなコンタクトポイントの設定等が可能になります。

音情報を認証可能なSDKとして「Sound SPONGE」、映像情報を認証可能なSDKとして「Video SPONGE」、画像情報を認証可能なSDKとして「Image SPONGE」を提供致します。

### ② 「SPONGE」（iPhone向けテレビ音連動チェックインアプリ）






「SPONGE」は在京6局7チャンネルのテレビコンテンツに音で連動する国内初（※5）のコンシューマー向けテレビ音連動チェックインアプリです。

（AppStore：<https://itunes.apple.com/jp/app/id571585941>）

テレビから出力されるテレビコンテンツの音を認証し、視聴中テレビコンテンツの関連情報を検索・表示してテレビ視聴を楽しく便利にします。また、ユーザーは、同じテレビコンテンツを視聴している友達を探したり、一緒にテレビを見る感覚でコミュニケーションをすることができます。

これにより、広告主はテレビCMに連動したスマートフォン広告を本アプリ内で展開する事ができ、ユーザーをスムーズに企業サイトやECサイトに誘導する事が可能になります。

## ▼SPONGE シリーズ構成

ソリューション名		ソリューション概要
SPONGE SDK	 Sound SDK	SDKを導入することで識別子を含む音情報を認証
	 Video SDK	SDKを導入することで識別子を含む映像情報を認証
	 Image SDK	SDKを導入することで識別子を含む画像情報を認証
 SPONGE (テレビ音連動チェックインアプリ)	 SPONGE	iPhone向けテレビ音連動チェックインアプリ

<今後の展開について>

「SPONGE SDK」に関しては、広告主の目的に沿って、SDKを活用した「O2O」もしくは「テレビ連動」マーケティングを企画・提供させていただきます。

「SPONGE」に関しては、2015年末までに800万ダウンロードを目標にiPad版、Android版の開発等サービス拡充や、関連事業社とのアライアンスを展開し、2015年の年間売上15億円を目指して参ります。

<注釈>

※1 オフラインの定義について

実店舗・テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・交通広告・デジタルサイネージ等のオフラインメディアを指す

※2 セカンドスクリーン視聴について

セカンドスクリーン視聴はテレビ視聴時にスマートフォンやタブレットを使用して、テレビコンテンツの関連情報を閲覧しながらテレビを見る新しい視聴スタイル

日本のスマートフォンユーザーの76%がセカンドスクリーン視聴（ながら視聴）を経験

参照：<http://www.hakuhodody-holdings.co.jp/news/20120910/HDYnews120910.pdf>

米国ではテレビCMに連動した広告を展開することで、ユーザーの購買意欲が72%増加

参照：[http://adcolony.com/assets/AdColony-Nielsen\\_Study.pdf](http://adcolony.com/assets/AdColony-Nielsen_Study.pdf)

※3 O2O市場規模予測について

参照：2013年版ITナビゲーター 著:野村総合研究所

インターネットからの情報を参考にリアル店舗で消費を行なっている割合(以下O2O比率)をアンケート調査から推計し、これを消費支出に乗じて2011年度のO2O市場規模を推計した。従来からインターネットサービスによる商品・サービスの情報提供が進んできた旅行・交通、飲食店、趣味・娯楽、家電といった支出項目においては2011年度のO2O比率が25%を超えており、他の品目と比較すると先行的にO2O消費が広まっている。

※4 日本エヴィクサーが開発したソリューションについて

オフラインに流れる音・映像・画像等の情報にデジタル識別子を付与し、スマートデバイス側のマイクやカメラ等の入力装置で識別子を認証するソリューション

※5 SPONGEのテレビ連動における日本初の定義について

2012年12月26日時点で音認証技術を活用した在京6局7チャンネルのテレビコンテンツ連動アプリとして国内初

■株式会社オプトについて

オプトはお客様のインターネット上でのマーケティング活動をお手伝いする「e マーケティングカンパニー」です。「売上に直結する e マーケティング」をコンセプトに、お客様のマーケティング ROI（費用対効果）を最大化します。

【会社概要】

設立年月：1994 年 3 月 4 日

資本金：75 億 95 百万円（2012 年 3 月 31 日現在）

代表者名：代表取締役社長 CEO 鉢嶺 登

本社所在地：東京都千代田区四番町 6 番 東急番町ビル

事業内容：e マーケティング事業

上場区分：JASDAQ（証券コード 2389）

URL：<http://www.opt.ne.jp/>

■日本エヴィクサー株式会社について

日本エヴィクサーはフィンガープリント技術と透かし技術を活用した音・映像・画像認証ソリューションにおいて、業界随一の技術を所有する技術者集団です。

設立年月：2004 年 3 月 12 日

代表者名：代表取締役社長 瀧川 淳

本社所在地：東京都中央区新川 1-8-6 秩父ビルディング 4F

URL：<http://www.evixar.com/>

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社オプト 広報担当 大野

TEL) 03-5745-3624

E-MAIL) [info@ml.opt.ne.jp](mailto:info@ml.opt.ne.jp)

<SPONGE に関するお問い合わせ先>

株式会社オプト SPONGE 担当 関 穰

TEL) 03-5745-3561

E-MAIL) [sponge@ml.opt.ne.jp](mailto:sponge@ml.opt.ne.jp)